

受付No.

## 2026年度 アートによる地域振興助成（一般）

公益財団法人 福武財団 理事長 福武英明殿

募集要項に則り、本応募用紙に記載した通り、標記助成に応募いたします。

## &lt;団体プロフィール&gt;

団体名	Imadate Art Field				
住所	〒915-0228 福井県越前市大平町2-4-89				
団体区分	実行委員会	スタッフ数	14名		
代表者氏名(カナ)	マスダ ヨリヤス	役職	代表	年代	60代後半
代表者氏名	増田 頼保				
団体URL1	https://imadate-art-field.studio.site				
団体URL2	https://www.instagram.com/stories/imadate_art_field/				

## &lt;申請者・実務担当者&gt; ※団体所在地と同じ場合は「同上」\*申請者には、助成に関する諸手続きの連絡担当者の名前を記入してください。

申請者氏名(カナ)	マスダ ヨリヤス	役職	代表	年代	60代後半
申請者氏名	増田 頼保				
連絡先 e-mail	imadate.af@gmail.com	電話番号	090-1394-9964		
住所(書類の送付先)	同上				

## &lt;プロジェクトリーダーの略歴&gt; ※アートプロジェクト等の運営経験や当時の役割を記載してください。

氏名(カナ)	マスダ ヨリヤス	役職/肩書	代表	年代	60代後半
氏名	増田 頼保				
年(西暦) 月	略歴(活動内容)				
2018年4月	第30回記念今立現代美術紙展1300展 統合ディレクター				
2018年9月	第30回記念今立現代美術紙展1300展 続展 統合ディレクター				
2019年4月	第31回今立現代美術紙展ART CAMP2019春展 統合ディレクター				
2019年10月	第31回今立現代美術紙展ART CAMP2019秋展 統合ディレクター				
2020年9月	第32回 今立現代美術紙展IMADATE ART FIELD 2020展 統合ディレクター				
2021年9月	第33回 今立現代美術紙展IMADATE ART FIELD 2021展 統合ディレクター				
2022年9月	第34回 今立現代美術紙展Imadate Art Camp 2022展 統合ディレクター				
2023年9月	第35回今立現代美術紙展 Imadate Art Camp 2023展 統合ディレクター				
2024年4月	第36回今立現代美術紙展 Imadate Art Camp 2024展 統合ディレクター				
2025年8月	第37回今立現代美術紙展 Imadate Art Camp Workshop 2025展 統合ディレクター				

## &lt;福武財団の助成実績&gt;

助成を受けて活動した年度

## &lt;外部協力者の状況&gt;

氏名	年代	組織名	所在地(市町村まで)	協力内容(できるだけ具体的に)
湊七雄	40代後半	福井大学	福井県福井市	アート・プロジェクトに関する相談と招待作家
朝倉由希	40代前半	福井県立大学	福井県福井市	アート・プロジェクトに関する相談と助成金などのアドバイス等
Elaine Cooper	60代後半	Spike Island Organization	Great Britain, Wales	アート・プロジェクト・プログラム、マネージメント・システムに関する相談と招待作家
Nicholas Cladis	40代前半	University Iowa Center for The Book	USA, Iowa City	ふくい <sup>®</sup> (無限大) Iowaアート・プロジェクトのカウンター・パートで、Iowa Art Fieldの創設者
島敦彦	70代	国立国際美術館	大阪府大阪市	シンポジウム講師等

## <活動内容・事業計画について>

表現手法	アーティスト・イン・レジデンス
活動テーマ	郊外（の地域振興）
事業名	第38回今立現代美術紙展 Imadate Art Camp Workshop 2026 ふくい <sup>®</sup> （無限大）Iowaアート・プロジェクト
2026年度の活動期間	2026/04/01 ～ 2027/02/28
活動に従事するスタッフ数	7名

### 1. 団体の活動の概要

<p>Imadate Art Field（実行委員会）の取組みとして、国際的な交流を越前和紙の里から発信すること。当会が取組んできた創作和紙や紙の造形の分野は、今や世界的な芸術として認識されている。Imadate Art Camp（アーティスト・イン・レジデンス事業）も20回以上を数え、国際的に活躍するアーティストが、続々参加希望を申し込んで来ている。</p> <p>親子で夏休みを利用して、自分で漉く和紙を提灯に仕立てて灯り創出のワークショップを行う。</p> <p>今回ジュニア展と秋展を計画しており、秋展はアメリカからNicholas Cladis氏等3人を招聘し、版画要素を組み込んだメディア混成型の企画を行う。</p>
---

### 2. これまでの活動の沿革

申請事業の活動年数	10年以上
年（西暦） 月	活動内容
1979年4月	今立現代美術紙展実行委員会を結成 第1回 現代美術今立展「紙の実験展」（実験展）
1980年4月	第2回 現代美術今立展「紙の実験展」光を使ったスペースアート（実験展）シンポジウム講師：宇佐美圭司
1990年10月	第10回記念 現代美術今立紙展'90（公募展）
1996年7月	第15回今立現代美術紙展ART CAMP '96「今立・紙の実験」（公募展）
2000年10月	第19回今立現代美術紙展ART CAMP 2000展
2007年7月	第26回 今立現代美術紙展 '07 IMADATE ART CAMP '07「越前和紙に挑む現代美術家たち」
2018年4月	第30回記念 今立現代美術紙展 1300展
2023年9月	第35回 今立現代美術紙展 Imadate Art Camp 2023展
2024年9月	第36回 今立現代美術紙展 Imadate Art Camp 2024展
2025年9月	第37回 今立現代美術紙展 Imadate Art Camp Workshop 2025展

### 3. 活動エリアについて

活動エリア	福井県 丹南地域・越前市
活動エリアの特色（歴史、文化、地域性、魅力など）	この地域には、越前和紙の里・越前打ち刃物の里・越前漆器の里がある。歴史は千五百年以上遡り、日本のシリコンバレー的な其々の谷に伝統工芸が盛んに育ってきた。全国でも有数の和紙工場が集積しており、横山大観・下村観山・小杉放庵・竹内栖鳳など名だたる画家たちが利用する美術紙を提供しており、この地で逗留しながら職人と一緒に自分の画風に合った和紙を開発してきたアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の聖地である。
活動エリアの課題（まず初めに、活動エリアにおける課題を簡潔にご記載ください。続けて、その課題の背景や詳細について、できるだけ具体的に記入ください。）	工芸産地の見える化を図るrenewが有名になったが、現代の画家や版画家などが和紙のことを知らない過ぎることが課題。海外から訪れてくるアーティスト達も、素材の豊富な越前和紙を知らないこと。この背景は、アカデミックな環境で学んで来たアーティストが、狭い知識の中で取り組んできた仕事に疑問を抱きながらも解決出来ない学業の壁がある。AIRの手法で実施してきたアート・キャンプでは、地域の人々との触れ合い、和紙事業者との交流の機会、歴史的な史料関係、デザイン的な取り組みを行っている工房などを横に繋いで行きながら、自分のこれまでの制作経験を活かせるような展覧会を実施。
貴団体の地域に対するミッション（活動の目的）	AIR（による「教育プログラム」の創出）で、世界のトップクラスの芸術家や識者、経験者、思索者など越前和紙文化の最も良質なファンを、仮称「越前和紙国際文化研究所」の客員メンバーに加えて、和紙文化研究の深化と革新を醸成させ、IT技術を持った若者などを地域にレジデントさせることで、AIRの多ジャンル化・メディア化と情報発信を図っていく。



7. 2026年度プロジェクト評価の観点や指標をどのように設定しますか。

定性（状态的な目標）、定量（数値的目標）をお書きください。

春展は、Iowa大学のNicholas Cladis他2人の展覧会を実施します。  
期間中に創作和紙ワークショップ実施し、参加者10人目標。  
ジュニア展は、実績6人から目標10人の参加目標。  
秋展AIRは、実績14人から目標16人のアーティストの参加目標。  
交流機会は、各ワークショップや展覧会、アーティストの和紙工房を巡るウォーク研修（初企画）、和紙灯りワークショップ（2回目）などで実施します。  
地元ボランティアガイドとの連携（初企画）や、地域自治振興会とのコラボ企画（初企画）も行います。  
プロジェクト評価の観点や指標として、「和紙の学校」設立に向けた素地づくりを指標とします。越前市との協働事業に成長させるための下地作りは、様々な関係機関との調整が必要です。

8. 2026年度の翌年以降の、地域に持続的に関わる中期計画と将来ビジョンをお書きください。

※一般申請者は、その計画・ビジョンの展開がこれまでの活動の積み重なりどのように紐づいているかと、その展開に事業や運営体制をどのように反映していくかについてもお書きください。

越前市で「和紙の学校」を5か年計画で検討しています。(Imadate Art Field : 以下 IAF)

A. レジデンス：短期個人レジデンス、長期個人レジデンス、招待レジデンス、初級～上級グループ、コラボレーション

B. 大学関連グループ：IAFは、学生向けの芸術・工芸留学プログラムを行える場所です。留学プログラム、集中留学プログラム、短期留学プログラム、研究者プログラム

C. 国際イベント：IAFは、国際手漉き紙作家協会（IAPMA）との連携

- ・国際的なアーティストや来訪者を招き、和紙の未来について話し合うことができます。

D. 地域との協力・イベント：「地域－国内－国際」の考えに沿って、IAFは越前和紙職人や工芸家、アーティストと協力します。

- ・「RENEW」や工芸フェアへの参加・支援
- ・KギャラリーをImadate Art Fieldに開放
- ・和紙職人を非常勤講師として招く
- ・地域の専門家をゲストスピーカーとして招く
- ・アーティストの制作を和紙職人とつなぐ

E. 日本の芸術と教育：IAFは、福井県の子どもたちが和紙を学び、体験できる場にもなります。

- ・高校生や他の年齢層のグループが、1～3日間、または半日・校外学習として参加できます。
- ・アーティストやレジデンス参加者、留学グループとの交流も大切です。IAFは現代美術での和紙の使い方を学ぶ場所です。
- ・高校生に、和紙が素晴らしい作品を作るための重要な素材であることを示せます。
- ・アーティストやレジデンス参加者との交流を通して、地域の特産品がどのように専門的に活用されるかも学べます。

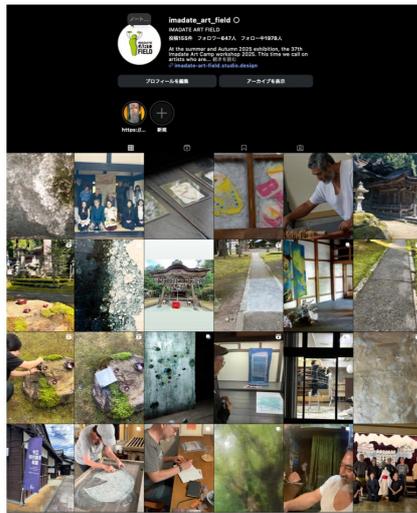
これらの運営に当たり、IAFがコーディネーターとして関わります。

9. 2026年度以降、複数年の助成を希望していますか？

はい

<活動の様子>

説明資料  
Imadate Art Field の Instagram から第 37 回今現代美術紙展 Imadate Art Camp Workshop 2025 の様子



活動の様子をInstagramにアップロードしています。

アート・プロジェクトの骨子

- 世界遺産となった「和紙」をキーワードに、誰でもアクセスできる仮想空間に情報をアップする
- 世界とつながる実験→Iowa Art Field の設立→オープンイノベーションの研究
- アーティスト・イン・レジデンス手法による和紙ネットワーク・多ジャンル化・メディア化 (コンテンツ作成)
- これまでの実施例:

木版画家による和紙鑑賞体験

人形浄瑠璃との協働



写真アーカイブから和紙へのプリント

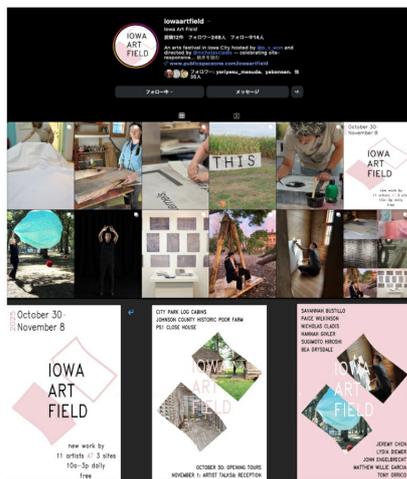
フォトワーク実施から和紙にプリント



- 「世界紙会議」や「国際木版刷会議」などのエクスカッション実施のための人的交流開発・ファンクラブの創出
- 和紙の里プラットフォーム「越前和紙国際文化研究所(仮称)」(シンクタンクあるいはプラットフォーム)の創出

アート・プロジェクトの骨子で中長期計画をしています。

Iowa Art Field の Instagram から Imadate Art Field メンバー杉本博がゲストキュレーターとして参加



今年からスタートしたIOWA ART FIELDの活動の様子をInstagramで確認できます。

